



地域活性化センターのめざすこと

「未来構想」と「3つの物語」

はじめに

地域活性化センターは、2015年10月に創設30年を迎えます。今まで多くの方々に支えられ、皆様との関わりのなかで、ともに地域活性化にむけて尽力してまいりました。

30周年にあたり、私たちは、専門家のお智恵もいただきながら、職員全員参加により地域活性化センターの「未来構想」と、それを実現するための「物語」を刷新しました。今までの知と経験を活かし、さらに、これからの地域活性化センターの未来を展望するうえで重要な、新しい考え方も取り入れました。

この資料を通じて、地域活性化センターがどのような「未来構想」をかかげ、なにを大切にし、実現しようとしているのかを、ご理解いただければ幸いです。

私たちは、地域活性化センターにかかわった皆様が、より一層の創発とイノベーションを、それぞれの地域で起こしていただけるよう、今後も精一杯ご支援してまいります。ともに地域の未来を描きながら、ともに考え、ともに実践してまいりましょう。

地域活性化センターのめざすこと

未来構想

3つの物語

ひとを育て、コミュニティを再生し、
地域を輝かせるセンターへ

—「地域力創造大学校」をめざして—

物語1. 「新しい知と方法」を生み出す

◇未来志向かつ実践的で、領域を超えて融合した「新しい知と方法」

◇3つの地域創造力

- 問題を設定し、解決し、それらを評価する力
- ネットワークをつくり、関係づくりをし、協働する力
- デジタル・メディアを活用する力

◇新たなものの見方と理論づけて考える力の養成

- 3分法思考(AかBかという考え方ではなく、第3の道を考慮する)
- 多様性と複雑性を許容し、対話を重視する
- 自発的に参加し、関与し、結びつこうとする気持ちを大切にする
- 共感し、相手の力を引き出す態度を身につける

◇物語り志向

- 夢と目標を紡ぎ、物語り、新たな価値を生み出す

物語2. 「現場主義」～地域とともに進化する

◇「小さな場所」のイノベーションをともに起こしていく(担い手の持続的な育成・輩出)

◇「学びと愛着につながる」仲間(コミュニティ)づくりをし、「対話と協働」により需要創造の場をつくる

◇「地域とともに創造し、地域とともに学ぶ」機会をつくる

物語3. 「研修」から「アクティブ・ラーニング」へ

◇「開かれた対話と創造の場」づくりから、「関心・共感・信頼による学びの場」をつくる

◇一方的な知識伝授の場から、自らが変化と応用の経験をし自分自身をエンパワーメントする場へ

◇「仕事と学び」を一体化し、実践的なアプローチをする

◇すべての仕事は、イノベティブでクリエイティブになる

(ex. 経理、接客、事例編集、データベース作成、情報発信、セミナー、調査研究)

(参考)「リーダー・フォロワー論」を超えて

●フォロワーから「当事者」へ ●A-Fモデル をとりながら、組織で目標を達成する

●以下の人財を大切にし、発想と行動力を尊重する

- ・「アマチュア」「たまたまやって来る人(まれびと)」
- ・「あいだの知を担う」人びと(インターミディエーター、ファシリテーター、トランスレイター)
- ・「若者」「女性」「外国人」

A-Fモデル とは

- | | | |
|-----------------|---|-----------------|
| A. Activators | ⇔ | 変革プロセスの誘発者・先導者 |
| B. Browsers | ⇔ | 有効情報の探索者・提供者 |
| C. Creators | ⇔ | 創造的アイデアの発見者・創出者 |
| D. Develcpers | ⇔ | 開発責任者・実現化計画者 |
| E. Executors | ⇔ | 実行者・実務者 |
| F. Facilitators | ⇔ | 協働プロセス促進者 |

地域活性化センターの「未来構想」

ひとを育て、コミュニティを再生し、
地域を輝かせるセンターへ
—「地域力創造大学校」をめざして—

「新しい知と方法」を生み出す

◇ 未来志向かつ実践的で、領域を超えて融合した「新しい知と方法」

◇ 3つの地域創造力

- ◎ 問題を設定し、解決し、それらを評価する力
- ◎ ネットワークをつくり、関係づくりをし、協働する力
- ◎ デジタル・メディアを活用する力

◇ 新たなものの見方と理論づけて考える力の養成

- ◎ 3分法思考
(AかBかという考え方ではなく、第3の道を考慮する)
- ◎ 多様性と複雑性を許容し、対話を重視する
- ◎ 自発的に参加し、関与し、結びつこうとする気持ちを大切にする
- ◎ 共感し、相手の力を引き出す態度を身につける

◇ 物語り志向

- ◎ 夢と目標を紡ぎ、物語り、新たな価値を生み出す

「現場主義」～地域とともに進化する

- ◇「小さな場所」のイノベーションをともに起こしていく
(担い手の持続的な育成・輩出)

- ◇「学びと愛着につながる」仲間(コミュニティー)づくりをし、
「対話と協働」により需要創造の場をつくる

- ◇「地域とともに創造し、地域とともに学ぶ」機会をつくる

物語3

「研修」から「アクティブ・ラーニング」へ

- ◇ 「開かれた対話と創造の場」づくりから、
「関心・共感・信頼による学びの場」をつくる
- ◇ 一方的な知識伝授の場から、自らが変化と応用の経験をし
自分自身をエンパワーメントする場へ
- ◇ 「仕事と学び」を一体化し、実践的なアプローチをする
- ◇ すべての仕事は、イノベイティブでクリエイティブになる
(ex.経理、接客、事例編集、データベース作成、情報発信、セミナー、調査研究)

(参考) 「リーダー・フォロワー論」を超えて

- ◎ フォロワーから「当事者」へ
- ◎ A-Fモデルをとりながら、組織で目標を達成する

A-Fモデル とは

- A. Activators ⇨ 変革プロセスの誘発者・先導者
- B. Browsers ⇨ 有効情報の探索者・提供者
- C. Creators ⇨ 創造的アイデアの発見者・創出者
- D. Developers ⇨ 開発責任者・実現化計画者
- E. Executors ⇨ 実行者・実務者
- F. Facilitators ⇨ 協働プロセス促進者

- ◎ 以下の人財を大切にし、発想と行動力を尊重する

- ・「アマチュア」「たまにやって来る人(まれびと)」
- ・「あいだの知 を担う」人びと (インターミディエーター、ファシリテーター、トランスレイター)
- ・「若者」「女性」「外国人」